

2018年3月期 業績概要

橋本 裕一

アンリツ株式会社
代表取締役 グループCEO

2018年4月27日



東証第1部 : 6754
<https://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

I. 事業概要

II. 2018年3月期 連結決算概要

III. 2019年3月期 通期業績予想（連結）

I. 事業概要

T&M事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ▶ モバイル市場 : 5G, LTE
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出器
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2018年3月期 実績 (連結) : 860億円

T&M 63%			PQA 26%	その他 11%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 32%	エレクトロニクス 23%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 20%	アジア、パシフィック 38%	米州 23%	EMEA 19%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

 減収ながら、PQAの成長で増益確保

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前期実績	当期実績	前期比 増減額	前期比 増減率(%)	(参考) 2017/4発表 業績予想
受注高	889	885	△ 4	△0%	910
売上高	876	860	△ 16	△2%	910
営業利益	42	49	7	16%	44
税引前利益	36	46	10	27%	42
当期利益	27	29	2	6%	30
当期包括利益	33	39	6	18%	-

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前期実績	当期実績	前期比 増減額	前期比 増減率(%)	(参考) 2017/4発表 業績予想
T&M	売上高	593	544	△ 49	△ 8%	610
	営業利益	21	18	△ 3	△ 14%	22
	(調整後営業利益)	(25)	(22)*	(△3)	(△12%)	-
PQA	売上高	196	225	29	15%	215
	営業利益	13	20	7	51%	15
その他 (含：内部消去)	売上高	87	90	3	3%	85
	営業利益	8	11	3	39%	7
合計	売上高	876	860	△ 16	△ 2%	910
	営業利益	42	49	7	16%	44
	(調整後営業利益)	(46)	(53)	(7)	(15%)	-

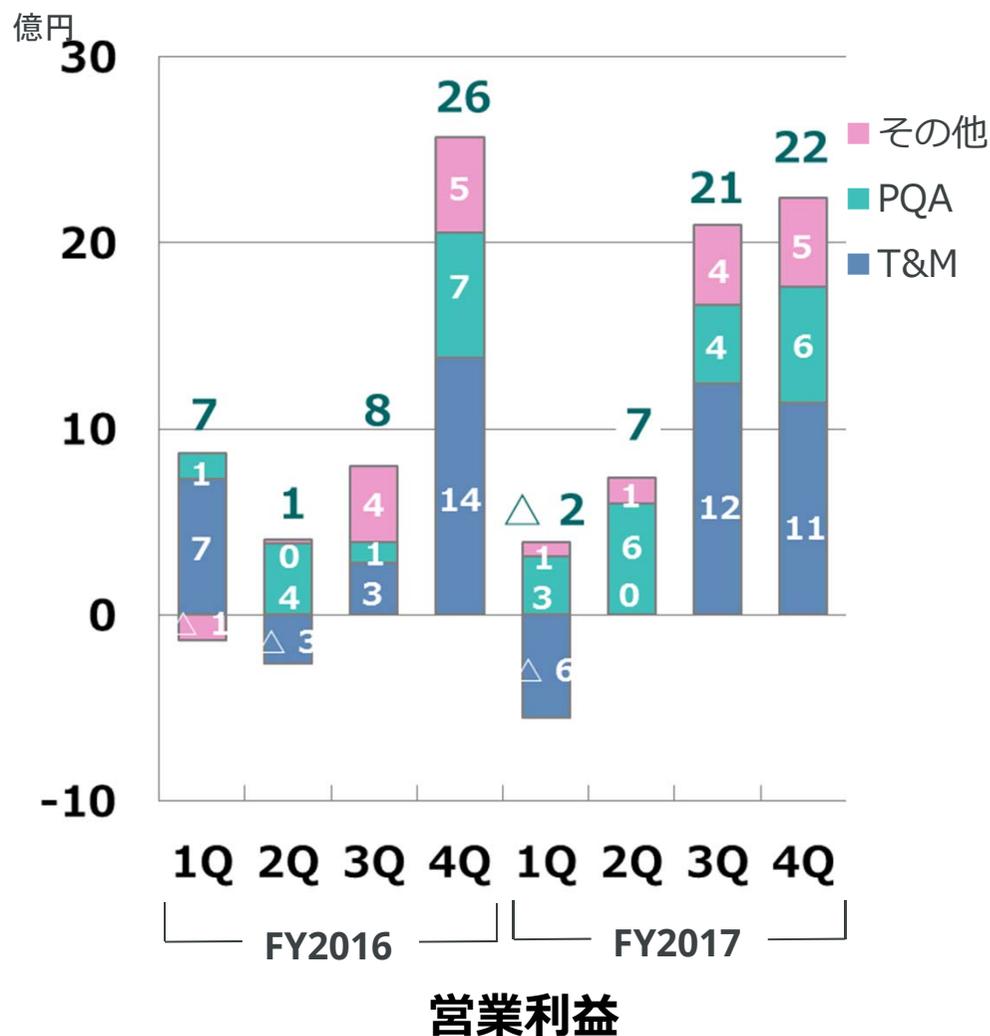
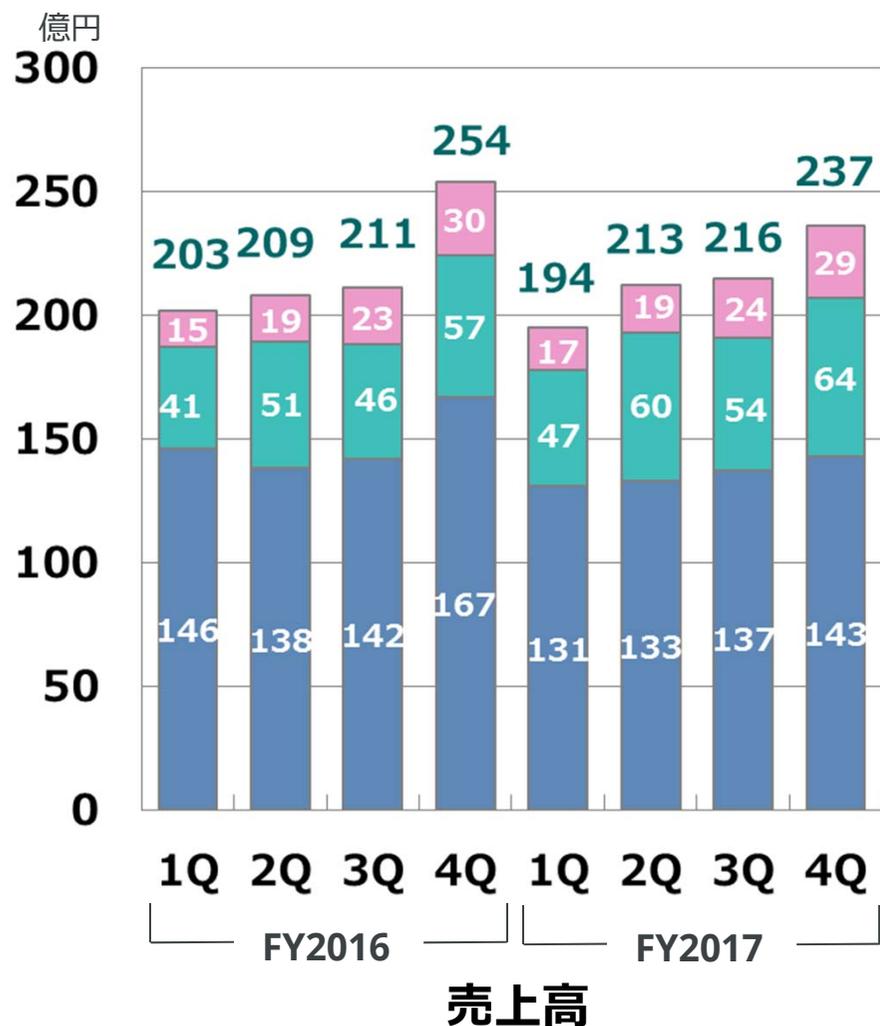
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

*T&M調整後営業利益は、米国等でのリストラ費用4億円を控除した数値です。

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

➡ 4Q(1- 3月)営業利益率：連結9%, T&M8%, PQA10%



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 4. 事業別営業概況

セグメント	2018年3月期（4月-3月）の状況	
 T&M : モバイル市場の停滞続くも5G始動		
モバイル	LTE-Advanced	LTE-Advanced Proへの投資にシフト
	5G, IoT, Connectivity	5G新製品を市場投入
NW	光デジタル関連への設備投資は堅調	
アジア	スマホ製造市場全体の成長鈍化で投資抑制継続	
米州	北米オペレータの基地局関連投資が縮小	
 PQA : 国内・海外とも食品メーカーの投資意欲が旺盛に推移		

T&M: Test & Measurement

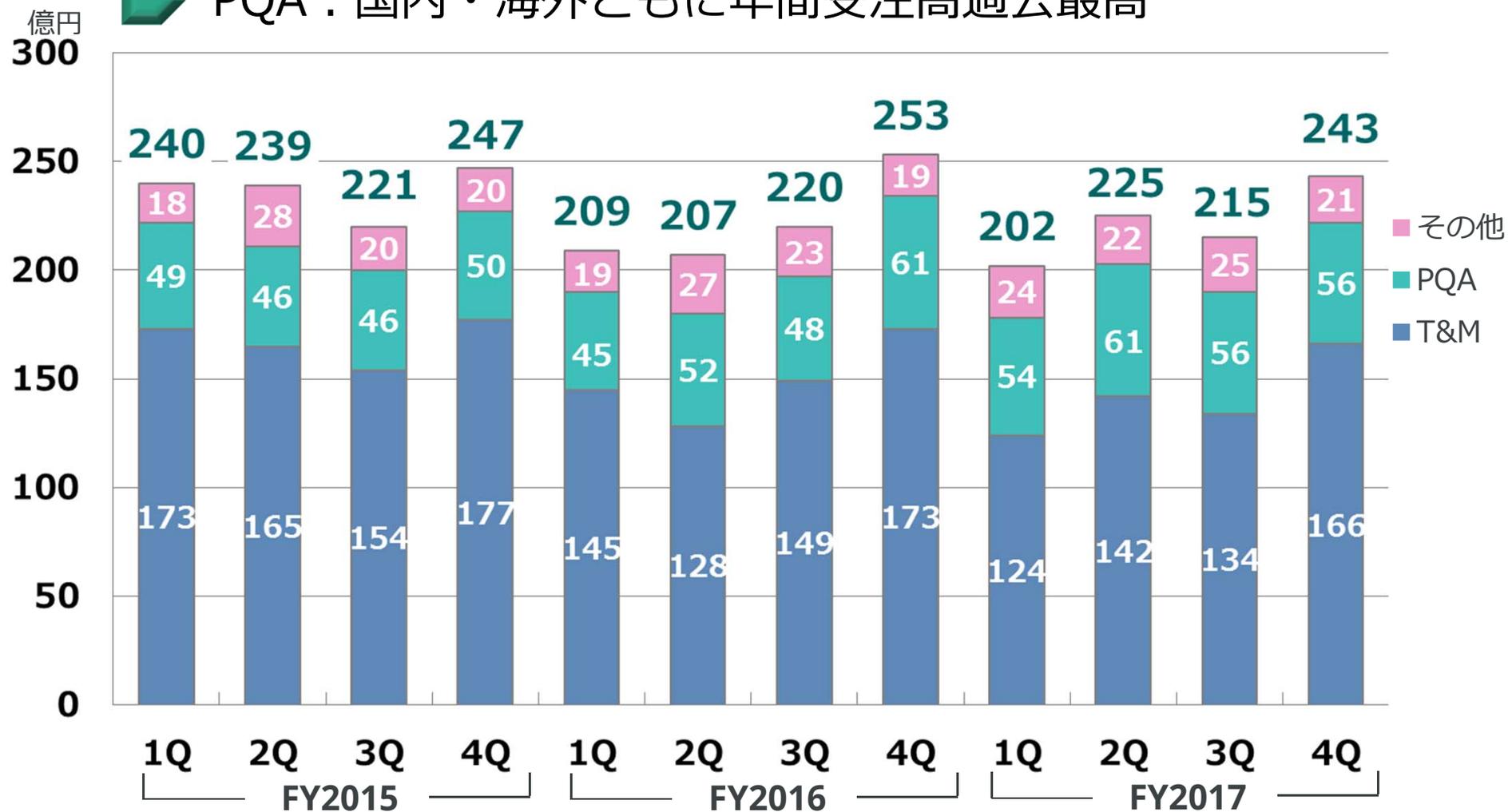
NW: Network Infrastructure

PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 5. 受注高推移

➡ T&M：5G新製品がQ4受注に寄与

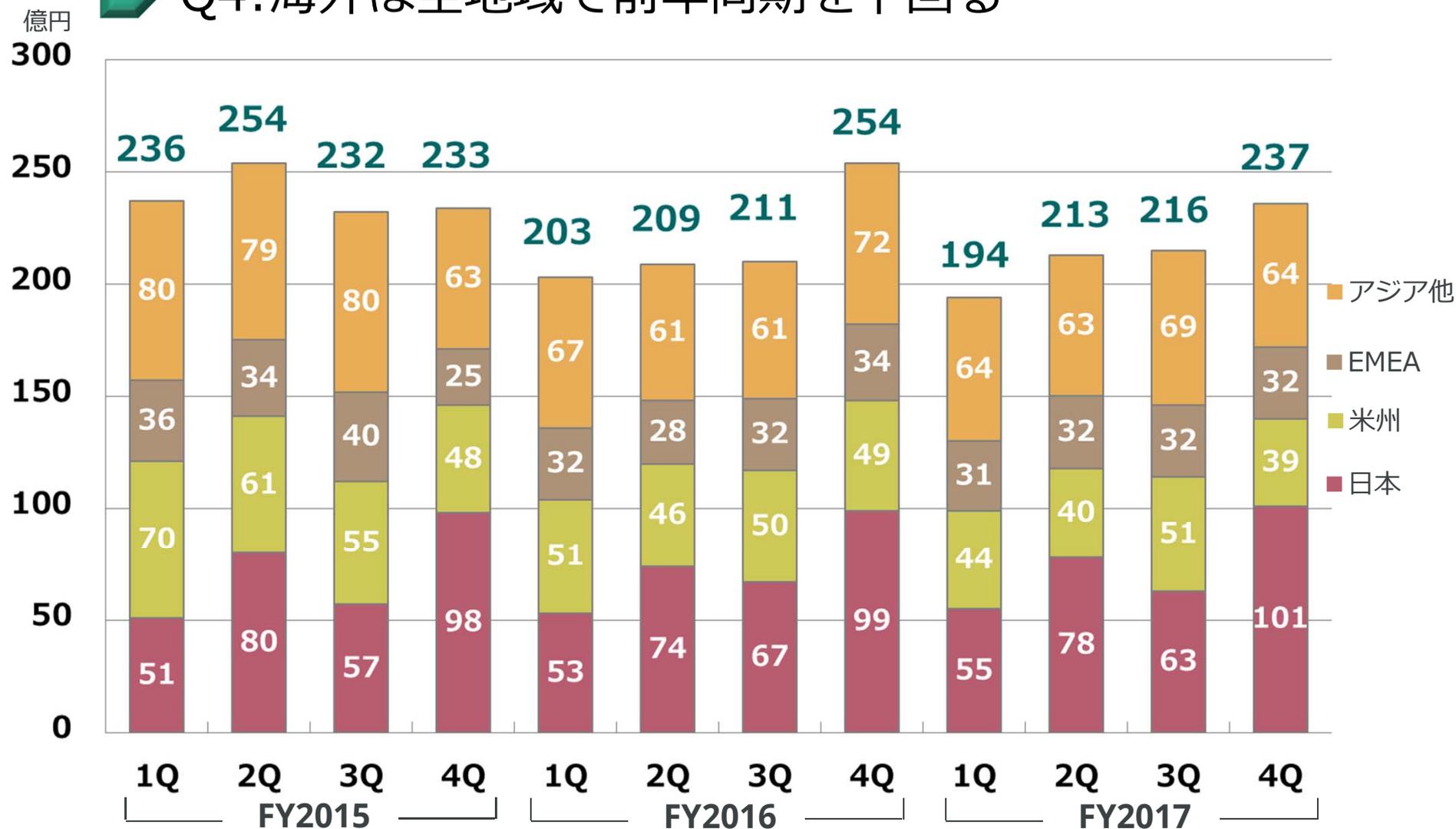
➡ PQA：国内・海外ともに年間受注高過去最高



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 6. 地域別売上高推移

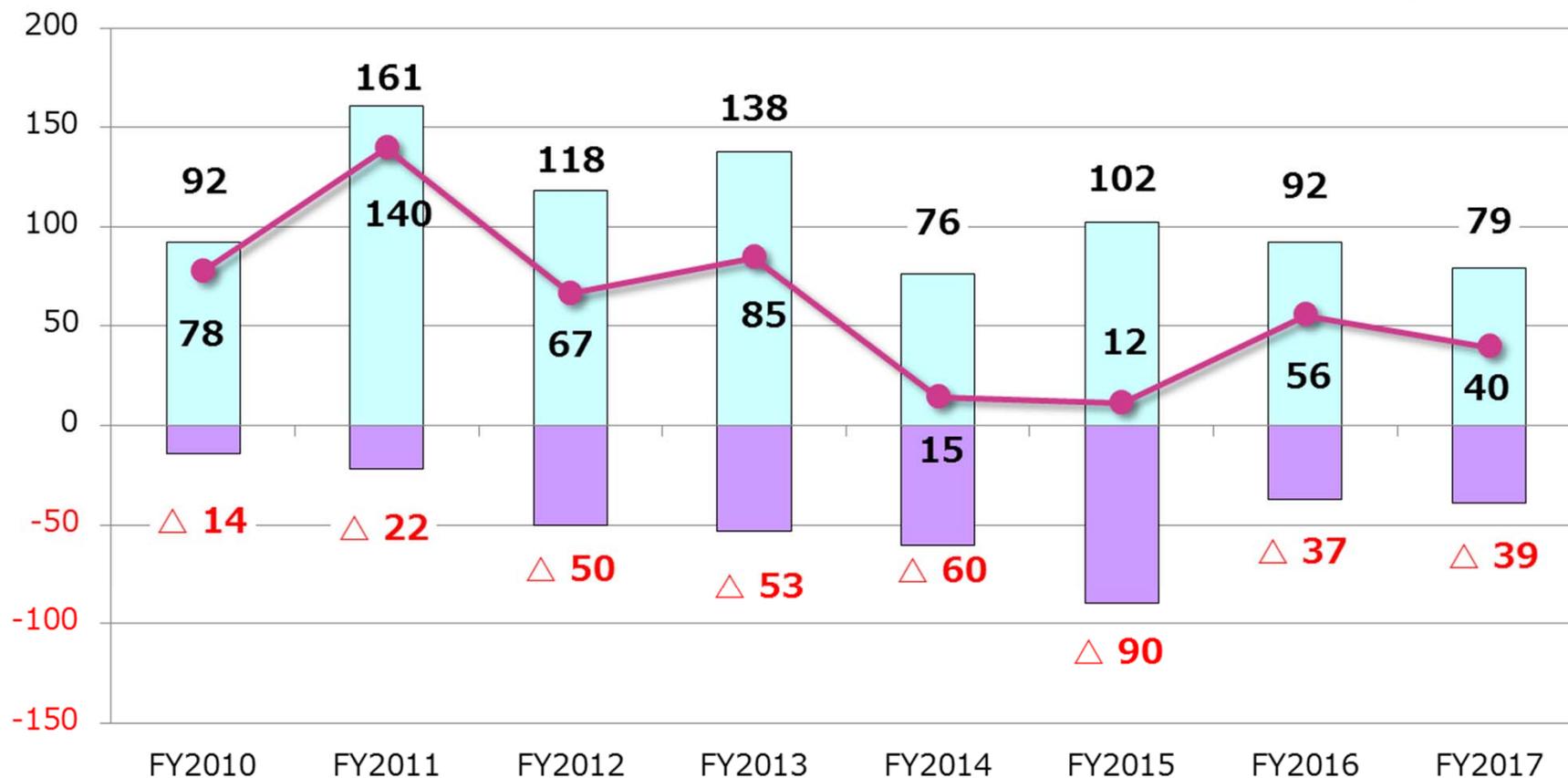
➡ Q4:海外は全地域で前年同期を下回る



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ- 7. キャッシュフロー (1/2)

(単位：億円)



■ 営業キャッシュフロー
 ■ 投資キャッシュフロー
 ● フリーキャッシュフロー

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) FY2010は日本基準、FY2011以降は国際会計基準 (IFRS)

Ⅱ-7. キャッシュフロー (2/2)

➡ 営業CFマージン率9.2%

FY2017 (累計)

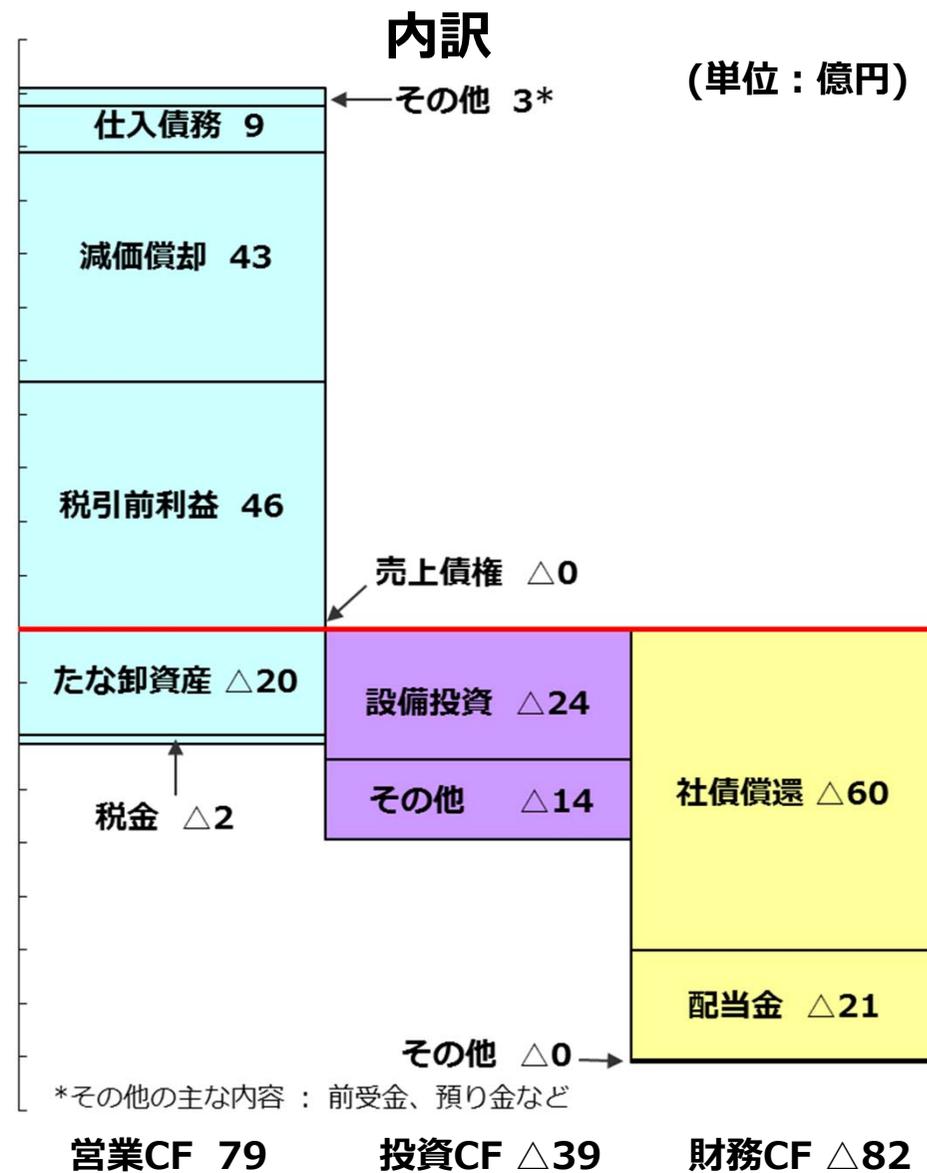
- ① 営業CF : 79億円
- ② 投資CF : △39億円
- ③ 財務CF : △82億円

フリーキャッシュフロー
(① + ②) : 40億円

現金同等物期末残高
355億円

有利子負債高
159億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



Ⅲ-1. 2019年3月期 通期業績予想（連結）

➡ GLP2020の初年度として成長のための基盤を確保

		2018/3期	2019/3期		
		前期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		860	920	60	7%
営業利益		49	66	17	34%
税引前利益		46	66	20	43%
当期利益		29	50	21	72%
T&M	売上高	544	600	56	10%
	営業利益	18	35	17	92%
PQA	売上高	225	235	10	4%
	営業利益	20	20	0	2%
その他 (含：内部消去)	売上高	90	85	△ 5	△ 5%
	営業利益	11	11	0	△ 1%

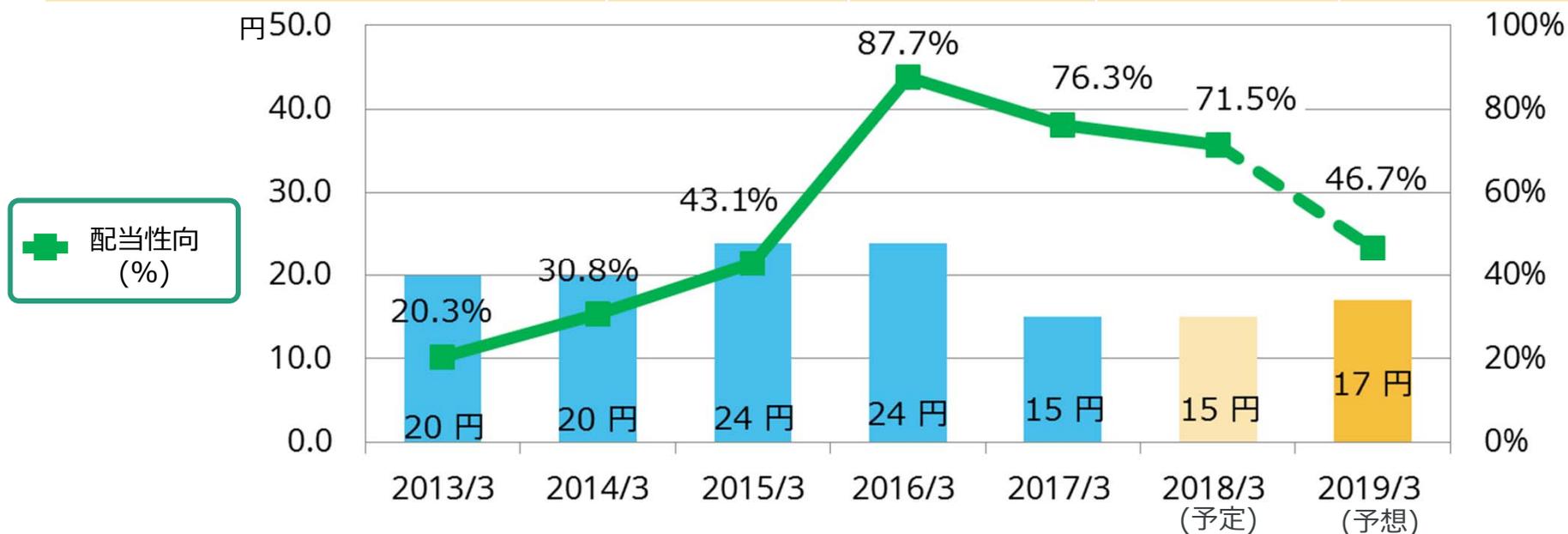
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) FY17為替レート : 1米ドル111円、1ユーロ=130円
 FY18想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円

Ⅲ- 2. 配当予想について

年間配当

	年間配当	当期利益	配当性向	DOE
2019年3月期 (予想)	17円	50億円	46.7%	3.0%
2018年3月期 (予定)	15円	29億円	71.5%	2.7%



3年間の 総還元性向	GLP2014 (FY2012~FY2014)	GLP2017 (FY2015~FY2017)
	45.4% (自己株式取得50億円含む)	79.4%



Anritsu
envision : ensure

